

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.kagyoren.jf-net.ne.jp/>



JF 高松市北浜町8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699
JF香川漁連

漁協系統功労者表彰式の開催

11月19日（水）東京一つ橋の如水会館で2025年度漁協系統功労者表彰式が開催されました。本年度は全国で60人の受章（漁協運動功労者表彰受章者32人、漁業振興功績者表彰受章者28人）がありました。香川県からは漁協運動功労者表彰を受賞された東讃漁協の笠井正人組合長が出席され、賞状の授与が行われました。笠井組合長は、1980年に入組し、2018年6月に代表理事組合長に就任されました。組合員の減少や漁業資源の減少等により組合経営が厳しい中、買取販売を中心とした販売事業の強化や組合の経営改善に尽力されました。2018年8月から信漁連の理事等にも就任され、県下の水産振興、関係団体の発展に大きく寄与されました。



かがわ漁業塾修了式

10月20日（水）香川県漁連研修センターで、「かがわ漁業塾」の修了式が執り行われました。第11期生として今年5月に5名が入塾し、半年間にわたり座学と実地研修を受講、研修を終え、修了式が行われました。

修了式ではまず、塾生が研修で学んだ内容や、それを生かしてどのような漁業者になりたいかなどについて研修報告がありました。そして修了証の授与が行われ、嶋野塾長より「皆様が漁業者となるための心構えとして、地域の調和を重視し取り組んでいただきたい。自然相手の命の危険が伴う職業ですが、かがわ漁業塾に入塾した時の初心と感謝の心を忘れず立派な漁業者として成長されることを願っています。」との祝辞が送られました。その後、塾生を代表して串田優大さんより「次代を担う漁業者として、活力ある香川の漁業の発展に貢献できるよう精進することを誓います」と宣誓が行われました。



修了証を持って記念撮影

香川県漁協役職員研修会の開催

11月20日（木）漁連会館6階大会議室において漁協役職員研修会（共催：香川県漁業協同組合連合会、西日本信用漁業協同組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会四国事業本部香川支店、香川県）が開催され、県下漁協役職員48名が参加しました。

主催者を代表して香川県漁連寒川常務の挨拶後、県水産課西岡主任技師より「香川県漁業就業者確保に向けた取り組みについて」の研修がありました。その後、漁連指導課より「所在がつかめない組合員への対応について」「育児・介護休業法改正について」「業務報告書作成の注意点について」「令和7年度税制改正について」「その他について」研修が行われました。

おさかな大使通信



《たかまつ市場フェスタ》

10月26日に高松中央卸売市場にて、高松市場フェスタが開催されました。私は前出大使と一緒にこのイベントに参加しました。早朝8時半からのイベントにも関わらず、開始からたくさんのお客様で賑わっていました。さぬき海の幸販売促進協議会のブースでは、オリーブハマチ・オリーブサーモン・オリーブマダイが3つセットになった刺身の試食を

提供しました。

また、ステージイベントでは香川の水産物についてPRしました。あいにくの雨でしたが、皆さん真剣に聞いていただき本当に嬉しかったです。オリーブ水産物をはじめ、蟹や蛸、いりこなど市場ではたくさんの水産物が販売されており、私自身も海の幸を堪能し、香川の水産物のおいしさを実感しました。この体験を生かして、今後のイベントでもより多くの人に香川県水産物の美味しさを伝えられるように頑張りたいと思います。（藤川 玲奈）



ステージイベントにて香川県水産物のPR



《庵治こども園食育教室》

11月6日、庵治こども園での食育教室に参加させていただきました。まずはオリーブハマチやオリーブについての勉強タイムです！子どもたちに質問を投げかけながら、できるだけ分かりやすく説明しました。

次に、オリーブハマチの解体を見てもらいました。まな板の上に乗ったオリーブハマチを見たときに、園児たちから「大きい！」という歓声が上がりました。解体するときは真剣に見ている子、友達とお話ししながら見ている子、少し怖がりながら見ている子と反応が様々でした。お刺身の形になると、子供たちは「スーパーで見たことある！」と身近に感じたようです。

スライスしたオリーブハマチはしゃぶしゃぶにしていただきました。園児たちはとっても美味しいと目を輝かせて食べていました。すぐに食べ終わり、おかわりがほしいと列に並ぶ子も多くて嬉しかったです。この食育教室をきっかけに、お魚に興味を持ってもらい、よりお魚を好きになってもらえれば嬉しいなと思います。（真鍋 みづは）



解体を見学する園児たち

《ひけた鮒出荷式》

11月7日に、引田漁港で行われたひけた鮒出荷式に参加させていただきました。出荷式の前には、普段見ることの出来ない水揚げから出荷までの工程を、引田小学校3年生の皆さんと一緒に見学させていただきました。水揚げされてから梱包されるまでのスピード感にとても驚き、新鮮でおいしい魚が、生産者はじめ漁業関係者の努力によって普段から食べられているのだと改めて感じました。

出荷式では、引田漁協網本組合長から引田小学校3年生の皆さんに「ひけた鮒広報大使」の任命書が手渡され、「50年間ひけた鮒を広める」という任命内容には、参加されている方々からも笑いが出る場面がありました。解体式のあとは参加した方々にひけた鮒が振る舞われ、子供たちからは「すごく美味しい、おかわりありませんか～？」と嬉しい言葉を聞くことができました。

今回のイベントを通じて、香川県のブランドハマチのそれぞれの良さを改めて感じることができました。今後も県内外の方々に、香川の美味しい水産物を知っていただけるよう尽力してまいります。

（前出 海里）



今年のひけた鮒もとっても美味しいので、ぜひご賞味ください☆